

2014年度に東京都内を訪れた外国人旅行者が買い物などに支出した額は1人当たり13万5039円で、前年度比で17・9%増えた。内訳をみると土産の買い物に約6万5千円を使っている。免税対象となる品目が拡大したことなどで、百貨店や家電量販店での消費が伸びている。

東京都がこのほど、外国人旅行者の行動特性調査をまとめた。訪れた地域を複数回答で聞いたところ新宿・大久保エリアが55・4%で最多だった。銀座(50・0%)、渋谷(41・8%)、秋葉原(41

都内訪日客 支出13万円

昨年度1人当たり、17%増



免税拡大が寄与

は「人が親切」が約70%で最多。次いで、「衛生的」「治安がよい」の順だった。約96%の旅行者が東京に対して満足感を抱いている。再訪についても、ほぼ同数が意欲を示している。

羽田空港と成田空港で、東京を訪問した外国人旅行者約1万3千人がアンケートに回答した。都内を訪れるのが初めてと答えた人は46・5%で、半数超が2回以上のリピーターだった。

・0%など、海外でも知名度の高いエリアが上位になった。最も満足度が高かったのは銀座で12・2%だった。銀座では6割以上がショッピングを楽しんだという。東京に対するイメージと回答した。都内では円